



インスピレーションになるう

2018年9月5日

通算第2635回例会

会報通算第2307回



第55期テーマ「理念は、時代の要請に応え」～共に学び、共に気づき、共に行動～

Since 1964



本日の例会プログラム

【ソング】「君が代」「奉仕の理想」

【ゲスト及びビジター紹介】

【会長挨拶・報告】

【幹事報告】

【出席報告・ニコニコBOX報告】

【委員会報告】

【行事】会員卓話 西川 実 君



**** 9月のお祝い ****

会員誕生日：増田 肇 君

夫人誕生日：野村 薫様・増田照美様

中村真弓様

入会記念日：中村和寛君・ 林 巧 様

吉田一喜君

次回の予告 9月12日

【ソング】「四つのテスト」

【コラム】 中村正人

【9月号友の紹介】

【行事】ゲスト卓話

鳥羽市 市長 中村欣一郎様(名誉会員)

前回の記録 8月28日

※例会変更 8月29日(水)例会と振替

会場：Hotel&Resorts ISE- SHIMA

司会：志摩ロータリークラブ S A A

【ソング】「四つのテスト」

【行事】ガバナーご挨拶・ご講演

国際ロータリー第2630地区

ガバナー 木村静之 様(岐阜加納RC)

同行者：地区代表幹事 間宮久人 様(岐阜加納RC)

会長挨拶・報告

本日は鳥羽・志摩合同ガバナー訪問例会でした。木村ガバナー、間宮地区代表幹事 松本ガバナー補佐の皆様に参加していただきありがとうございました。木村ガバナーには、2018～2019年度地区テーマ「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」についてご指導いただきました。

『理念をかかげ』

私たちは職業奉仕という幹の中にある奉仕の理念を、お互いにしっかりとかけながら、例会のプログラムを大切に、例会によってその理念が会員に浸透されるように努めてください。

『意欲を喚起し』

奉仕活動を担うのは、個々の会員です。ロータリーで自らの感動体験を思い起こし、また、他のロータリアンの感動体験の話を聞きましょう。私たちはそこから意欲をもらいます。それはさらなる奉仕へのインスピレーションになるはずです。

『共に行動』

ロータリアンは信頼で繋がっています。一部のメンバーだけの活動ではなく、多くの会員が参加して行うことにより、さらなる大きな良い効果を得られます。委員長だけの活動ではなく、多くの会員が共に行動することにより、意欲を喚起したいものです。

また、会員増強の大切さにおいて、特に女性会員の増強・公共イメージの向上・ロータリー財団の地区補助金の活用等、アドバイスをいただきました。これからもロータリアンの目標に向かって楽しく共に行動したいと思います。

幹事報告

1. 例会変更の件

明日8/29(水)例会は、本日ガバナー公式訪問例会と振替のためございません。

2. 第55期9月定例理事会のお知らせ

日時：9月12日(水)13：40～

場所：かんぽの宿 例会場隣 円卓

3. 近隣クラブ例会変更はございません。

8/28ホームクラブ	18/29	62.09%
8/8確定出席率	19/29	65.52%

○会 長 濱崎興吉 ○副会長 池田長示 ○幹事 宮濱克行

○会報担当 原田佳代子・和田英孝・小川剛生・丸川竜也

○事務局 〒517-0022 鳥羽市大明東町1-7 鳥羽商工会議所2F

TEL 0599-25-6039 FAX 0599-26-4588 E-mail: tobararc@poplar.ocn.ne.jp

○例会日 毎週水曜日 12時30分～13時30分

○例会場 鳥羽市安楽島町1200-7 日本郵政(株)かんぽの宿鳥羽 TEL 0599-25-4101

鳥羽



■国際ロータリー第2630地区

ガバナー 木村 静之 様

皆さんこんにちは。風光明媚な鳥羽・志摩を訪れますと、心が和みます。

1 今年度RI会長のテーマは“Be The Inspiration”

「インスピレーションになろう」です。バリー・ラシン会長はバハマのかたです。バハマは、米フロリダ半島とキューバの間、カリブ海に浮かぶ島です。テーマロゴはカリブ海の荒波を表しています。英語のINSPIREは、「鼓舞する」「意欲を喚起する」という意味がありまして、「インスピレーションになろう」とは、ほかの人たちに「インスピレーションを与える」、「何かをやろうという意欲を吹き込む」、「心に火をつける」そういう人になろう、という意味になります。6月に逝去された服部芳樹パストガバナーは「燃えよロータリアン」という名訳をされました。



ラシンさんは、前向きな変化を生み出す意欲を、課題に立ち向かう意欲を、クラブからも、地域社会からも、組織全体からも、引き出したい、意欲を引き出すための「インスピレーション」になりたい、あるいはなってほしいと述べておられます。

2 今年度の、私のガバナーとしてのスローガンは、「理念をかかげ 意欲を喚起し 共に行動」というものです。まず、「理念をかかげ」ですが、近年、世界のロータリーの趨勢はいささか「奉仕活動のロータリー」に偏っていて、理念が薄くなっている、という意見が出ています。

奉仕活動のロータリー 増強、財団、寄付、プロジェクト推進を重視する面

理念のロータリー 職業奉仕、4つのテスト、例会を重視する面

私は、奉仕プロジェクトを活発に行うことは非常に大切なことだと思っています。ただ、世界では新興国の会員が増えてきたということもあって、「奉仕活動のロータリー」に傾いていると言えます。そのためRIは「ロータリーの多様性」を認めざるを得ない状況で、2016年の規定審議会において大きな改正がなされ、例会は月2回でもよいとされました。当時のRI会長が「例会を何回開いたかよりも、地域社会にどのような変化をもたらしているかのほうが重要だ」と述べました。サンディエゴの国際協議会での私の体験でも、新興国は先進国のロータリーから援助を引き出すことに熱心です。こうした新興国の会員が増加する一方で、先進国の会員が減少し、「奉仕活動のロータリー」に偏っている状況にあります。そういう状況で、私はあえてロータリーの原点である理念を強調しなければならないと思うのです。

まず、職業奉仕の幹の中にある「奉仕の理念」をしっかりとかけろ。「かけろ」とはロータリーのモットー・四つのテスト・ロータリーの目的（綱領）に表される基本理念をいつも意識して、職業生活・社会生活で実践することです。最近も、日本を代表する企業で「偽装事件」などが発生しています。「産地の偽装」とか「等級の偽装」といった事件も発生しています。我々ロータリアンの感覚からすれば由々しき問題だと言わざるを得ません。

3 そして、大切なのが例会です。例会は、職業人としての倫理を向上させ、互いに切磋琢磨し学ぶ場であります。例会のプログラムを大切に、例会への出席を大切にしたい。理念の浸透を図るのは例会です。「例会に出席義務」があるといいますが、例会に出れば先輩や友人に会えるし、顔を合わせてこそ信頼関係を育むことができるのです。義務感から出席するのではなく、楽しいことがあるから出席するようになっていただきたい。他方、例会のプログラムを企画する側も工夫をして、例会に出席してよかったという気持ちで帰ってもらえるようにしたいものです。

クラブ内での研修態勢を整えることも大切です。クラブの中で「研修リーダー」を選任して、クラブ内での研修全般に配慮してもらうのがよいと思います。

4 次に、会員基盤の強化が必要です。日本のロータリーは20年前に13万人でしたが、今は9万人です。若い世代にも、社会経験豊富な退職者世代にも、女性会員にも入っていただきたい。両クラブは女性会員が既に多いので、申し上げる必要はありませんが、今や、女性が職業を持つことも社会的な活動です。

することも普通ですので、会員構成もそれに応じて多様になってほしい。世界で女性会員の割合は今20.7%ですが、日本は6.6%です。これを5年以内に15%以上にしたいと提唱されています。

昨年度の増強の状況は、地区全体で純増40～50名です。これは好成績です。皆様のご努力の賜物です。他方、各クラブ平均1人増えれば地区全体で75人増えるはずですが、そこまでできていません。増強のためには、一人一人の会員を大切にすること、会員が奉仕に対する意欲をもつこと、クラブを魅力あるものにすることであると思います。そして、「素晴らしい人がいるからこのクラブに入りたい。」「信頼できるあなたが勧めるから入会する。」というのが理想です。

5 次に、意欲を喚起するにはどうしたらいいのかということです。ラシン会長は行動力のあるリーダーらしく、意欲を喚起するには「熱意を持って強く伝える」とか「自らの行動で範を示す」、ということをおっしゃられます。私は、少し視点を変えて「感動体験を話そう」ということをご提案します。ロータリーでの感動体験をお互いに話すことです。ロータリーでは、見返りはお金ではなく感動です。奉仕活動で感動したこと、職業奉仕の面でも感動したこと、そういう感動体験は自分自身の中でさらなる意欲となりますし、そのような話を聞いた人も意欲が湧いてきます。

6 次に、共に行動です。奉仕活動として何をするかは、各クラブの情報収集と創意工夫です。地域社会で改善すべき点、あるいは世界で必要とされている課題は何か、という観点で取り上げていただきたい。どんなプロジェクトをするかは、地区の奉仕プロジェクト委員会からも情報を得ることができます。「財団の地区補助金」を活用した奉仕プロジェクトは、すでに多くのクラブで実行されています。「グローバル補助金」は、少し規模の大きい国際的な活動ですが、挑戦する価値はあると思います。

7 グローバル補助金事業としてご紹介したいのは、当地区の中津川クラブと中津川センタークラブが行った「母子の健康」に関する事業です。ブラジルのサンパウロ州で乳児死亡率が高い地域があって、地元のレジストロロータリークラブと中津川のクラブが共同して、現地の医療施設に医療機器を提供するとともに、住民を対象に産前ケアのワークショップの推進をしました。この事業はRIの2016-17年度年次報告に取り上げられました。中津川市がレジストロ市と姉妹都市というご縁だったそうです。

もうひとつご紹介したいグローバル補助金事業は、「基本的教育と識字率の向上」の分野で、今年度、当地区の多治見リバーサイドクラブ、美濃加茂クラブ、鈴鹿ベイクラブが、タイのシロムロータリークラブと共同して、タイの「教員の研修」プログラムと80校に教材を寄贈する事業が決まりました。これも注目に値します。グローバル補助金事業は、6つの重点分野に該当するという要件や、持続可能性という要件、現地の人たちが活動に加わるといったことも必須です。言語など意思疎通が難しいことがありますが、地区の委員会（奉仕プロジェクト委員会、国際奉仕委員会、財団委員会）がサポートしてくれます。

持続可能性について。持続可能性（sustainable）という言葉は、最近、国の政策で「持続可能な開発」とか「環境の持続可能性」、企業経営で「企業の持続可能性」などと言われます。ロータリーでは、「持続可能な変化をもたらす」事業をと言われます。単に物を寄贈するだけというのではなく、現地の人も加わって、将来的に現地の自助努力でやっていけるように援助する、ということが大切です。「魚を与えるより魚の取り方を教える」ということです。

8 ロータリー財団は、世界では非常に高い評価を受けています。お金の使い道、使い方、透明性、いずれの面でも高い評価を受けています。時々、「財団の補助金は要件が厳しくて使いにくい」という声も聞きますが、それは、財団委員会が、ルーズな使い方にならないよう管理しているからです。

9 次に、公共イメージと認知度の向上についてお話しします。ロータリーは意外と世間に知られていません。あるいはロータリーという名前が知られていても、どんな活動をしているかは知られていません。「いいこと」をしてそれが人々に知られれば、世間から注目され、人が集まるようになり、我々の励みになります。その結果、増強にもなり、奉仕の拡充になります。方法としては、奉仕活動の機会をとらえて、「視覚的に」伝えるのが効果的です。チラシや横断幕などです。クラブがこれまで地域社会

で行ってきた活動を伝えるとともに、「4つのテスト」などロータリーの理念も伝え、ロータリーがポリオ撲滅に力を入れていることも伝えたい。

10 “PEOPLE OF ACTION” 「世界を変える行動人」はR Iのキャンペーンです。たとえば、奉仕活動の写真を掲載する場合に「行動」をイメージできる写真にする、など提唱されています。このロゴはマイロータリーからダウンロードできます。チラシなどに使ってみてはいかがでしょうか。

11 ロータリー賞、R I会長特別賞を目指していただきたい。昨年まで「R I会長賞」と言っていました。3つの戦略的優先項目に沿って項目がいくつか並んで選択するようになっていきます。それほどハードルは高くないので挑戦してください。ただ、クラブセントラルから入力するのに多少のコツが必要です。

12 ポリオ撲滅の問題があります。30年前、野生型ポリオウィルスによって麻痺障害を発症する人（子ども）は、毎年推定35万人でした。それが、99.9%以上減少しています。現在発症が確認されるのは、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国だけです。3年間続けて0になれば撲滅したと言えるのですが、今年になってアフガニスタンとパキスタンで7月までに12件発症が確認されています。残る0.1%のポリオとの闘いが問題です。ワクチン投与の妨げとなっている要因は、遠隔地であったり、紛争地であることです。ポリオ撲滅が実現すれば、ロータリーの人道奉仕の成果として、歴史に残ります。引き続き寄付のご協力をお願いします。

13 もうひとつは、環境の持続可能性を守ることです。ラシンさんも講演で強調していました。環境汚染は、毎年、多くの子どもの死亡原因となっており、地球規模で、現在数十億人が深刻な水不足を抱えて暮らしています。地球温暖化で異常気象や海面上昇といった深刻な問題が発生しています。ロータリーが、先手を打つことのできる組織となれるよう願っています。

14 日本のロータリー100周年について。日本のロータリーは1920年に東京で創設されました。このたび、「100周年実行委員会」から、各地区に、記念の鐘（ゴング）が贈呈され、ガバナー公式訪問の際に点鐘していただいております。台座に地区全クラブの名前が刻まれています。

15 米山梅吉記念館についてお話しします。静岡県にありますが、これも創立50年になります。米山梅吉さんの遺徳を顕彰し広く知っていただく趣旨で設けられました。大修繕の必要があることなどで、募金を全国のロータリアンに呼びかけています。米山奨学金の寄付とともによろしくお願いします。

16 10月に岐阜市で地区大会を開催いたします。2日目にはアグネス・チャンの講演があります。どうか多数の皆さんのご登録をお願いします。

以上で私の卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。



日本ロータリー100周年記念の鐘・ゴング



木村ガバナー入場、お出迎えの様子



間宮地区代表幹事、地区大会PR



8月28日分

■志摩ロータリクラブ■

剣山会長・鳥羽ロータリクラブの皆様、本日は宜しく願いいたします。

向井幹事・鳥羽クラブの皆様ようこそ。楽しみにしておりました。ごゆっくりして下下さい。

橋爪君・お暑中ようこそ志摩までお越しいただきました。ありがとうございます。本日はよろしく願いいたします。

山本(三)君・久々の合同例会、お久しぶりです。今後ともよろしく願いいたします。

羽根君・鳥羽クラブの皆様、ようこそ志摩へ！

村瀬君・朝早くより志摩RCへようこそ。ゆっくりして下下さい。

山本(久)君・鳥羽クラブ様ようこそ。ごゆっくりして下下さい。

平石君・鳥羽クラブの皆様、ようこそお越し下さいました。木村ガバナー様のお話を一緒に聞かせていただき、勉強が出来ますこと光栄です。よろしくお願いします。

太田君・鳥羽クラブの皆さん、暑中ようこそお越し下さいました。宜しくお願いします。

山本(太)君・木村ガバナー様、間宮久人地区代表幹事様、本日はよろしくお願いします。今年度のIMは志摩観光ホテルにて、11月4日日曜日に開催します。皆さんよろしくお願いします。

■鳥羽ロータリクラブ■

濱崎君・国際ロータリー2630地区ガバナー 木村静之様、地区代表幹事間宮久人様、ご多忙の中ようこそ志摩へ。ご指導宜しくお願いいたします。

池田君・木村静之ガバナー、地区代表幹事 間宮久人様、ようこそ鳥羽志摩へお越し下さいました。本日は宜しくお願いします。

宮濱君・国際ロータリー2630地区ガバナー 木村静之様、地区代表幹事 間宮久人様、本日はご指導の程よろしく願いいたします。

中村(和)・本日もよろしくお願いします。

野村(保)・志摩ロータリクラブの皆様よろしくお願いします。

松田君・木村ガバナー、本日はありがとうございます。宜しくお願いします。

中野君・本日は木村ガバナー、間宮地区代表幹事、お忙しい中ようこそお越し下さいました。宜しくお願いいたします。

濱口君・木村ガバナー様、間宮代表幹事様、お越しいただきありがとうございます。志摩RCの皆様お世話になります。

小林君・木村ガバナー、本日は御苦労様です。宜しくお願いします。

増田君・木村静之ガバナー、間宮久人地区代表幹事、本日はご指導の程よろしくお願い申し上げます。

丸川君・本日はガバナー公式訪問です。木村ガバナー、地区代表幹事 間宮様、ご指導の程よろしくお願いします。

和田君・志摩クラブの皆様、本日は宜しくお願いします。

野村君・志摩ロータリクラブの皆様、本日お世話になります。木村静之ガバナー、御指導よろしくお願いします。

山本君・志摩クラブ様、本日はお世話になります。宜しくお願い致します。

